

# Corporate Profile

ODAWARA AUTO-MACHINE MFG.CO., LTD.

 株式会社 小田原機器

# 公共交通を支える小田原機器グループ

小田原機器グループは公共交通の分野におけるONLY ONE企業として、人々の暮らしにおける交通事業を支えています。



## バス事業 — Bus business

路線バスのワンマン機器を主力製品として、運賃収受関連機器、案内・表示関連機器を含めてフルラインナップで開発・製造をしています。また、バスロケーションシステムとして、バス停留所における案内表示器やバスロケーションサイトへの展開も含めてバス交通の進化を支えるトータルソリューションを実現しています。

## 鉄道事業 — Railway business

小田原機器グループでは鉄道車両向けの運賃箱及び運賃表示器などを手がけるとともに、駅・ホーム向けに発車標や各種表示器を製作しています。各交通機関が円滑に機能するうえで欠かせない製品づくりを通じて、公共交通のインフラ整備に寄与しています。

## システム事業 — System business

高速道路や公共バスなどの交通インフラ系システム開発を行っています。ETCやVICS(道路交通情報通信システム)等の交通インフラ関連や金融情報システム関連など、公共性の高いシステム開発案件に携わり、ハードだけでなくシステム面でも社会に貢献しています。

## 空港事業 — Airport business

空港向けの空港用インフォメーション機器を導入しております。また、屋外環境や大型表示器の設計スキル・ノウハウを保有しており、各種交通表示システムを製品展開しています。

## 社長メッセージ — Top message

### 公共交通の分野における ONLY ONE企業でありたい

代表取締役社長 丸山明義



小田原機器グループは、1986年に世界初の自動計数式運賃箱を開発するなど、『開拓の精神で社会に奉仕する』という経営理念のもと公共交通に貢献してまいりました。

今、公共交通の取巻く環境としては、日本の人口減少やMaaSの進展など、社会動向が大きく変化してきています。加えて、キャッシュレス技術や自動運転技術などの技術動向も含めて、現在の経営環境は急激・急速に変化してきております。そのため、今までの考え・発想では変化に対応できない時代に直面していると考えております。

変化を先取りするためにも初心に立ち返り、『社是』『開拓の精神で社会に奉仕する』を念頭に迅速な行動・柔軟な発想で経営に取り組み、社会に貢献してまいり所存です。

社員一人ひとりがお客様とともに、新たなソリューション構築に取り組むことで、安全・安心・便利な公共交通の実現に取り組んでまいります。これからの小田原機器グループにご期待くださいますよう、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

#### 企業理念

当社の社是である「開拓の精神で社会に奉仕する」をモットーに、つねに自社開発の商品・サービスの提供を行い、社業を通して社会に貢献してまいります。

#### 「開拓の精神」

とは、つねに世の中に新しい商品・サービスを提供し、社会に貢献することをいう。

FRONTIER SPIRIT  
開拓の精神

#### 「社会に奉仕する」

とは、われわれが日々行っている社業を通して社会の向上・発展に尽くしていくことである。

## ビジョン — Vision

### 社会インフラの大転換期を見据えたうえで、 小田原機器グループにしかできない 価値を提供していく

小田原機器グループの属する公共交通を取巻く環境においては、モビリティ改革と称されるように大変革の時代に入っており、次世代への交通システムへシフトしています。

交通システムにおいては、さまざまな形の『未来』が実現しつつあります。

こうした環境のなかで、小田原機器グループでは既存の交通系システム・決済システムの概念にとらわれないビジネス展開を進めていきます。

小田原機器グループでは「運賃箱メーカー」から「交通系総合機器メーカー」への飛躍を目指してまいります。

「交通系総合機器メーカー」へ





# バス関連事業 Bus business

人々が生活するうえで一度は利用したことがある路線バスは、全国で約6万台が走っています。そのうちの約半数に当社の製品が搭載されており、皆様の身近なところで社会に貢献しています。



## 運賃収受機器 Fare collection products

### RX-FTS型 運賃箱



ワンマンバス機器の進化とともに、小田原機器グループは歩んできました。バス用運賃収受機器のパイオニアメーカーとして、バス車内の厳しい使用環境に適合した製品を提供しています。運賃収受について長年培ってきた技術の粋を集め、機能・性能をグレードアップし、スリムさを極めたボディに凝縮しました。

### RX-NZS型 運賃箱



### SAN-VTN型 サーマル整理券機



### ICカードシステム



ICカード機器をはじめとするキャッシュレス決済にも対応し、運賃収受機器は「運賃収受システム」として進化し続けています。

## 案内・表示情報機器 Information products

バス車内における情報機器端末として、運賃表示器、行先表示器、音声合成案内装置及び業務用IP無線システムなどの各種機器を取り揃えています。

### BFD型 液晶運賃表示器



### BVC型 音声合成案内装置



運賃表示器はインバウンド向けの多言語表記案内から、動画・画像を含めた各種広告表示まで対応しています。

### VPT ボイスパケットトランシーバー



各種機器に必要なデータの更新は「統合管理システム」にて一括で制御が可能です。当社製品でワンマンバス機器のトータルソリューションを実現しています。

## バスシステム Bus system

バスのワンマン機器においては高度化・システム化が進んでおり機器単体ではなく「システム」として稼働しているといっても過言ではありません。



IoT技術を用いた「バスロケーションシステム」や「バスオンライン化システム」などハードとソフトの両面から新たな付加価値をもった製品を提供しております。来たる自動運転、MaaS、キャッシュレスの時代においても、小田原機器グループはバス事業者の経営課題を解決することで価値を提供し続けていきます。



# 鉄道・空港関連事業

Railway business  
Airport business

バス以外の交通機関においても、当社の製品が多く使用されています。駅の発車標や電車の表示器、空港の案内表示など、各交通機関が円滑に機能するうえで欠かせない製品を作っています。



## 鉄道 — Railway products

交通インフラ市場として鉄道用機器を製造しており、鉄道車両向けの運賃箱及び運賃表示器などを手がけるとともに、駅・ホーム向けに発車標や各種表示器を作成しています。

小田原機器グループでは今後も鉄道事業者様に対して、最適なソリューションを提案し、新製品を展開していきます。



LED 表示器



発車標



## 空港 — Airport products

公共交通向けのシステムとして、空港への表示案内装置を展開しております。小田原機器グループでは社会全体に対してストレスフリーな交通利用環境を引き続き提供してまいります。



# システム関連事業

System business

社会インフラシステムづくりに携わり、ETC、渋滞情報・VICS関連のシステムを開発。社会全体に対してストレスフリーな交通利用環境を提供できるよう、日々サービスを生み出しています。



## 道路交通情報通信システム — Intelligent transport systems

社会インフラの整備を目的として、道路交通情報通信の分野で小田原機器グループの技術が活かされています。

車両の交通量計測システムにより計測した交通量から発生する渋滞情報や通行止めといった各種交通情報をリアルタイムで収集し、カーナビに配信するシステム(VICS)、トンネル内防災システム等の開発に携わっています。



## ETCシステム — Electronic toll collection systems



全国的高速道路を中心に今や広く浸透しているETCシステムについて小田原機器グループはその導入初期からシステム開発に携わっています。交通系ソフトウェア開発に係る技術力、開発力及びノウハウを活かし、納入するシステムはお客様から高い評価を得ています。小田原機器グループは技術の粋を集めて、今後も世の中の役に立つ公共交通システムをクリエイティブに続けます。



# 開発から生産、メンテナンスまで トータルでのサポート体制を構築しています。

小田原機器グループにおいては受注から開発、生産、メンテナンスサービスまで、一貫して提供できる体制を構築し、お客様へ最適なソリューションを展開しております。

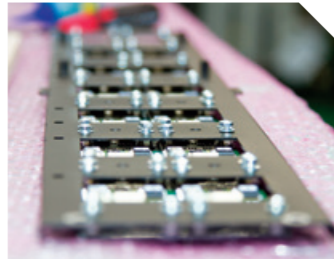
## 営業 Sales



提案～仕様打合せ～アフターサービスまでの各フェーズにおいて、お客様と密接にコミュニケーションを取り、常に最適なソリューションを提供してまいります。

## 生産管理 Production control

客先の多様なニーズに対応するため多品種少量生産体制を構築し、1000点を超える部品の納入状況や納期管理体制を実現しています。

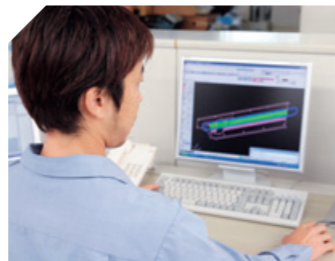


## 製造 Manufacturing



過酷な使用環境及び長期間の使用に耐え得る信頼性のある製品を、長年にわたる製造技術や製造ノウハウをもって製造しております。

## 技術 Technology



メカ、エレキ、ソフトの技術を融合し、次世代交通に向けた新決済システムなどの製品・サービスを常に創出し続けています。

## 品質保証 Quality assurance

製品品質の確保を目標とした「品質保証」の取り組みを実現するため、常に顧客満足と社会貢献を目指して活動しております。



## サポート Support



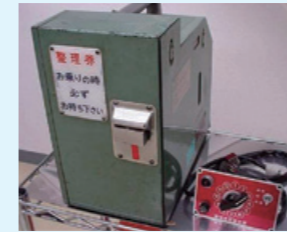
機器の信頼性、顧客との信頼関係を深めていくなかでメンテナンスサービスを戦略的顧客リレーションの一環と位置づけております。

# 沿革 — History

「開拓の精神で社会に奉仕する」をモットーに、公共交通の進化に貢献してきました。今後の次世代交通の進展やキャッシュレスのニーズを捉えて、時代に必要とされる新製品の開発を行い、社会の向上・発展に尽くしてまいります。

1950年

有限会社小田原鉄工所を神奈川県小田原市に設立。



1965年

軟券式整理券発行機の開発を機にワンマンバス機器市場に参入。



1978年

業界初の紙幣両替の際にバス運転手の手に紙幣が触れない「ノータッチ式」の紙幣検定機を搭載した運賃箱を発売。



1986年

業界初の「即時計数式運賃箱」と「サーマル印字式整理券発行機」を発売。後の業界標準システムになる。

2001年

ISO14001を認証取得。

2002年

ISO9001を認証取得。

2007年

省コスト、省スペースを実現したスリム型運賃箱RX-NZSを発売。

2013年

高機能スリム型運賃箱RX-FTSを発売。

2018年

次世代型ICカード機器BICMOを発売。

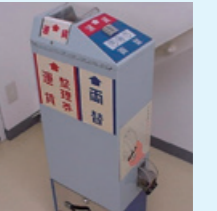


1952年

株式会社に改組、株式会社小田原鉄工所とする(資本金600千円)。

1971年

運賃箱と両替機が別々だった時代、早くも一体型の硬貨循環式運賃箱を発売。



1979年

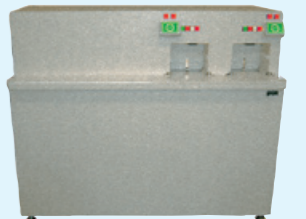
資本金20,000千円で株式会社小田原機器を神奈川県小田原市中町に設立、株式会社小田原鉄工所から機器事業部の営業権譲渡を受ける。

1999年

内製化強化のため、100%子会社である株式会社オーバルテックを設立。

2005年

小型運賃精算装置SSを発売。



2009年

ジャスダック市場(現 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード))に上場。

資本金を319,250千円に増資。

2017年

株式会社指月電機製作所の情報機器システム事業を譲受けソタシステム株式会社の株式を取得し、子会社化。

# ⑦ 株式会社 小田原機器

ODAWARA AUTO-MACHINE MFG.CO., LTD.

〒250-0005 神奈川県小田原市中町一丁目11番3号  
11-3 NAKACHO 1-CHOME ODAWARA KANAGAWA. 250-0005 JAPAN  
TEL / 0465-23-0121 FAX / 0465-23-1288  
<https://www.odawarakiki.com/>

